

新型コロナウイルス感染防止の取組と学校生活

清泉小学校校長 大西貞弘



新型コロナウイルスの感染拡大を防止する目的から、本校では2月末から休業措置を取り、児童と家庭の健康・安全を第一に考えて対処しています。今は、このような状況下で、みんなで力を合わせて難局を乗り切ることがとても大事だと考えています。守るべき命を守る、このことをおいて優先されることはないと考えます。誰もが自分の行動に責任を持つことが求められています。こういう時だからこそ、自分のことだけでなく、他者のことを想像して思いを寄せることが、人間として大事なのだと思います。誰かのことを考える時、自分もその人の痛みにあずかることは、カトリック学校として大切にしたい価値です。人の痛みを感じることの出来る人間でありたいと強く思います。世界中の苦しんでいる人々のために、最前線で働く多くの医療従事者やその関係者のために、そして未来の心あたたかな社会の建設に寄与するために、多くの祈りを捧げ、勇気ある行動をとりたいと思います。

さて、学校では、児童が学校に通えない状況にあって、日々、教職員全員が児童一人ひとりの健康や学習状況を心配しています。学校としての出来る限りの支援を用意しようと、具体的な支援を実行に移しつつあります。従来の教師手作りの教材の送付はもちろんのこと、ロイロノートを使った双方向のやり取りを行ったり、YouTube動画で分かりやすい手作り指導を限定配信したりしています。それを通して、児童一人ひとりが一生懸命に家庭の中で、お手伝いしたり学習したりしていることも伝わってきます。児童の皆さんが今努力していることは、これから先のそれぞれにプラスに働くことでしょう。家族みんなで協力している今の過ごし方から、また新たな発見もあるのかもしれないと感じます。この難しい状況を後ろ向きにとらえるのではなく、神様から示された有効なメッセージがあるのだと理解しながら、無償ですべてを用意して下さる神様の恵みに、安心と信頼をおいて過ごしてまいりましょう。